

# 女性先輩職員の声

抜粋版



さらに  
詳しく!  
こちらから



企画振興部  
総合政策課  
課長  
たかはし さきこ

高橋 佐紀子



1990年	入庁・大曲保健所 技師(化学職)
1992年	環境技術センター 技師
1995年	衛生科学研究所 技師
1997年	生活環境部 環境保全課 技師(2000年～環境政策課 主査)
2001年	生活環境文化部 生活衛生課 主任(2004年～主査)
2005年	生活環境文化部 環境あきた創造課 主査
2009年	生活環境文化部 環境エネルギー推進課 副主幹
2010年	秋田地域振興局福祉環境部 環境指導課 副主幹
2014年	生活環境部 環境管理課 副主幹(兼)班長(2017年～主幹(兼)班長)
2019年	企画振興部 総合政策課 政策監
2021年	生活環境部 温暖化対策課 課長
2022年	生活環境部 県民生活課 課長
2023年	企画振興部 総合政策課 課長

## 県職員を目指している方へのメッセージ

美しい自然や豊富な食、文化のある県内各地域での業務を経験でき、秋田県の真の豊かさを実感できるのも、秋田県職員の魅力の1つだと思います。ぜひ一緒に、「県民誰もが豊かさを実感できる秋田」を創っていきましょう。

## 現在どんな仕事を担当していますか？

県政運営の指針である「新秋田元気創造プラン」を所管しており、重要施策の総合的な調整や評価を行うとともに、プランに基づく施策を積極的に推進するため、国に対する要望などを行っております。

## これまで特に印象に残っている経験は？

「環境あきた創造課(2005年配属)」では、環境問題に関する県民への普及啓発活動に取り組みました。世界的に温暖化対策が再注目された時期でもあったことから、県内外で活動している民間の方々との交流も多く、刺激や影響を受けるなど、貴重な経験をさせていただいたと思っています。また、技術職として専門分野に係る業務を長く経験ましたが、「総合政策課(2019年配属)」では、広く県庁全体の業務に関わり、これまでにない新たな視点が持てるようになりました。

## 仕事を続けてこられた理由を教えてください。

3人の子育ての中で、支援制度等が整っていること、上司や同僚の理解と協力があったこと、加えて、家族の手助けがあったことも、仕事を続けられた大きな理由だと思います。女性ということで配慮していただいた点もたくさんありましたが、男女関係なく、1人の職員として評価していただけた場面が多くあったことは、仕事を続ける糧になりました。



観光文化スポーツ部  
誘客推進課  
主査  
ながさき やよい  
長崎 弥生



## 現在どんな仕事を担当していますか？

観光キャンペーン実施に伴うポスター・パンフレット制作、情報サイト管理、広告配信など秋田への誘客に向けた企画・調整を行っています。

## これまで特に印象に残っている経験は？

文化振興課在籍時(2018年度)に東京都と連携した「東京キャラバン」という事業で、横手市で舞台公演を行ったことが印象に残っています。なまはげ、竿燈、民謡といった県内の出演者や会場手配などを担当しましたが、著名な演出家やアーティストなど多くの人が関わった事業でもあったので調整に苦労しました。大変な面もありましたが、一流の人たちの仕事を間近に感じることができ、様々な人たちの協力で完成した舞台公演は素晴らしく、感動しました。

## 県職員を目指している方へのメッセージ

学生時代は県外にいたため、地元の秋田に戻って就職することに対して、これでよいのかという不安もありましたが、県庁には秋田県内だけでなく東京などの県外の事務所や民間企業との人事交流もあり、幅広い分野で仕事ができています。自分の成長を感じられる職場だと思います。

あきた未来創造部  
地域づくり推進課  
主事  
さいとう ふくみ  
斎藤 福美



## 現在どんな仕事を担当していますか？

若者を対象とした地域活動への支援業務や、県と協定を結んでいる企業との連携業務、県有施設の管理事務などを担当しています。

## これまで特に印象に残っている経験は？

今年、企業との連携協定に関する業務を担当し、新たな企業との協定締結のため、締結式までの調整を行いました。どのような取組ができるか企業の方と何度も話し合いを重ねたほか、各部署にも連携内容を確認してもらうなど、それぞれの意見を集約しながら協定内容を考案するのは大変でしたが、無事に締結式を終えたときは達成感がありました。また、県と企業が協働して課題解決を図る、そのための土台づくりを担当できたのは、今までにない経験でやりがいを感じました。

## 県職員を目指している方へのメッセージ

県庁は、幅広い分野・業務を経験することができるため、自分の関心をあげたり、得意分野を見つけたりと、たくさんの可能性がある職場だと思います。将来を迷っている人がいれば、ぜひ秋田県庁を考えてみてもらいたいです。